

2

お寺大会 エントリーシート

出品者名

抜作 三太郎 こと 前田@厚木です。(前田 巳代三)

作品タイトル

MDHA 無帰還・ダブル・ヘッドフォン・アンプ

作品紹介 (回路図や構成図、コスト、出品者本人のコメント・所感など)

持ち歩き用に消費電力の小さなアンプを作るのは、無能な私では無理なので据え置き型にしました。

差動1段にバッファを付けただけの極々普通の回路です。

初段のFETは、普通は使わない2SK246。ゲインを稼ぐために電圧を36Vと一寸高めにしました。

後はDCカットしてFETのソースフォロアへ。出力段は2SK213/2SJ76、バイアスは2SK246/2SJ103で作ります。

電源は±12V/5Vのスイッチング電源を2個使い、初段用に+36Vと-5V、終段用に±12Vを作ります。

平衡入力可能なようにしたので、普通に作ると4連ボリュームが必要になります。

が、まあ入力のレベルもそれほど変わらないだろうということで、ボリュームは出力段(バッファ)の前につけることにしました。これなら、2連ボリュームでOK。

Cカップルのみだとボリュームが負荷とパラになってゲインが下がるので、一応ソースフォロアを付けてみましたが(どっちがいいのかわからないので)、Cカップルのみでも接続できるように2系統準備しました(コネクタで切替可)。

ボリュームは(なるべくゲインをロスらないように)普段は使わない100kΩ。

ここまで作ったら、バッファを2個にすれば二人で聞ける、しかもボリュームは独立に調整可能、ということでダイヤモンドバッファをもう1個付けることに。

こちらは、いつもの2SA1015/2SC1815に、2SB716/2SD756という古い石があったので使ってみました。アイドル電流は15mA前後だと思います。

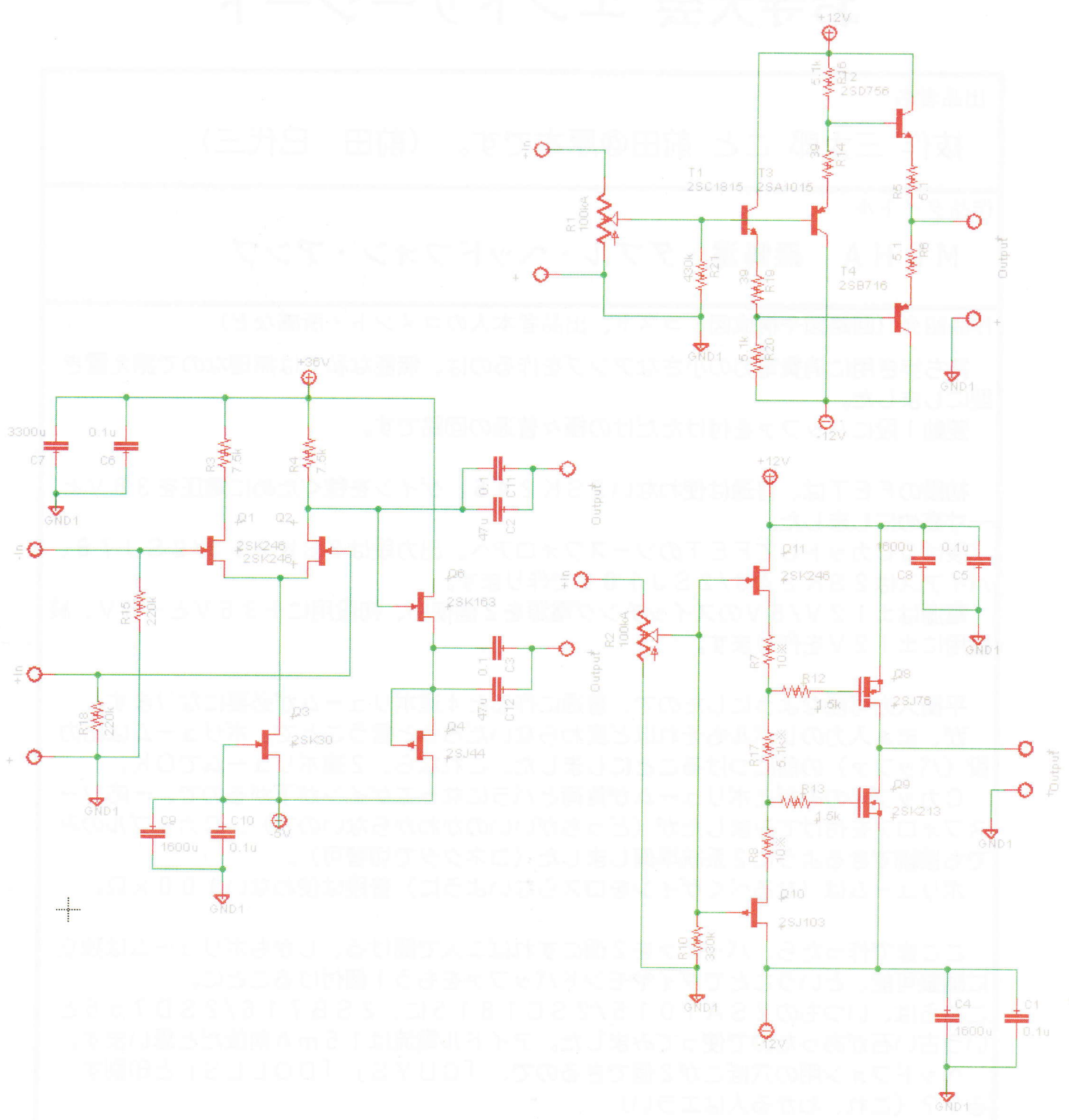
ヘッドフォン用の穴ぼこが2個できるので、「GUYS」「DOLLS」と印刷する??(これ、わかる人はエライ)

FETバッファの方は、若干パワーがあるのでスピーカー出力も付けました(非力なのでミュート回路は付けていません)。

全く駄目な屁みたいなアンプ、と評価されないことを祈っています。

この用紙は2枚記入し、1枚は作品に添付、1枚は事務局に提出してください。
この作品紹介を参考に大会レポートを作成します。

オーディオアンプ



※ バイアスを作る抵抗はアイドリング電流が適当になる値を選び、上下の10Ωはオフセット電圧が0Vになるように調整する。

「GUYS」「DOLLS」: Walkmanの初期型の初期モデルは2個のヘッドホン出力にこう印刷されていました。すぐ「A」「B」になりましたが。